



Until we are all equal



Plan International

LEAD - 変革の推進者 として活動する女の子・ 男の子・ユース

2024年に得たエビデンスの概略

プラン・インターナショナルは、グローバル戦略: **立ち上げ、女の子たち**に基づき、人道危機への対応のみならず、6つの優先テーマ分野でのプログラム実施に焦点を置き、80超の国々で活動を展開している。

2024年末、私たちは活動対象国とプロジェクトから得た各テーマ分野のエビデンスについて成果と評価、内部・外部による重要調査、年次報告書の数値・データを含めた検証を実施した。本概要では、LEAD(先頭に立つ)について真に求められていることを2024年に得たエビデンスから明らかにし、そこから学ぶべきことと共に、その一部をまとめている。

プラン・インターナショナルではLEADを掲げ、女の子・男の子・ユースが自身のコミュニティ内で先頭に立って変化を促し、高いレベルでの意思決定に影響を与えることで、自身の人生に影響する決定を行えるようにすることに重点を置いた活動を展開している。中核となる重点分野は:

- ユースの集団的活動
- 義務の担い手による、ユースの参加の実現
- 変革を推進するユースの声を伝える手段

活動の詳細は [こちら](#) から



主要な洞察



- ユースの多くが、家族やコミュニティに働きかける、独自の提言キャンペーンをつくり出す、義務の担い手の参加を促す、といった行動を通して既に変革の推進者として活動している。2024年のプログラムと能力強化活動を通して、ユースが主体的に関わっていく成果が得られたが、今後もこれがユースにとって優先すべき分野であることは変わらない。
- 女の子とユース女性は伝統的なリーダーシップ像には否定的で、連帯し協力し団結して行動したいと考え、こうした取り組みを支えていくことを重視している。義務の担い手が財政支援を行い、ユースと連携することが実現の鍵だと考え、2024年プランは、集団的活動を旗印に、ユースグループの能力強化と、他の関係者との連携づくりを中心に活動を展開している。
- ユースは、個人・コミュニティレベルでの積極的な活動からプラスの影響を受ける一方で、様々な障壁にも直面している。主な障壁としては、社会のシステムがユースをリーダーとして受け入れる際に及ぶ、ジェンダー・年齢・人種その他アイデンティティの要素の影響、また(オン/オフラインで)心身の安全を脅かすジェンダーに基づくリスク、そして資金調達を阻む障壁が挙げられる。私たちは今後も、深く根付いた規範に挑み、リスクの分析・軽減についてユースを継続的に支援していくことが、極めて重要である。
- 私たちは、ユースの参加が真に有意義であるよう、提唱活動と機会づくりを続けていく必要がある。私たちのプロジェクトでは、各国政府や義務の担い手との連携の下、ユースの参加の実現に向けた進捗が確かに認められるが、まだ安定性に欠く、あるいは求められるレベルには達していないのが実状である。
- 柔軟な資金調達と持続可能な連携・パートナーシップ実現のため、セクター全体で、私たちは引き続き資金提供者との提唱活動を優先的に進め、継続的に活動を振り返り、改善していく必要がある。これは、ユース主導のグループ・組織の継続的な発展を効果的に後押ししていく上で極めて重要である。

数値で見る 2024年

プランのグローバルな取り組み

(年次報告、2023年7月~2024年6月)



110万人

の女の子を市民として積極的に活動できるように支援



480万人

の子どもと大人に女の子・男の子・ユースが変革の推進者として活動するプログラムを提供

ユースの提唱活動に対する義務の担い手の対応

76%

の政府の政策決定者と国連機関が、ユースの提言に対応・支援していると評価された

女の子のリーダーシップに向けた提唱活動

女の子のリーダーシップに関する**57件の働きかけの成功事例**があり、例えば:



女の子の権利に関する法律・政策・規制・指針に関する

18の変更・改善



女の子の権利の向上に寄与する、投資・予算・支出・制度・サービスに関する

6つの取り組み

(4つのプロジェクトに参加したユースの観察データ)

(グローバル・アドボカシー戦略に基づく年次報告、2023年7月~2024年6月)

喫緊の課題は何か 主な調査結果

2024年、さまざまな国で調査を実施し、そこから、ユースがコミュニティ・非公式な場所・国内/国際レベルで、**変革の推進者として既に大きな存在感を示している**ことがわかる。

「私自身も自分が変わったと感じていて、決断力と対応力がついたと感じます。以前は自分を無力な子どもだと感じていましたが、今は能力があると感じます」

Sanjiva, 18歳、ネパール

女の子とユース女性が、思いやりと平等の原則に基づく**集団的活動と協力を支持し**、変革の推進者として積むさまざまな経験は、**昔ながらのリーダーシップ像とは相容れない**場合が多い。そのため、女の子と女性が結集し、ネットワークを築き、競争を助長する規範に挑めるよう、この分野でプランその他の組織が支援を強化するよう、ユースは求めている。

調査全体で、ユース女性と女の子が主導するリーダーシップと活動は、**コミュニティレベルに集中し**、政策や法律といった広範なレベルではなく、地元の変化に重点を置いている場合が多かった。話し合いでは、彼女たちの活動は、個人レベルだけでなく、コミュニティ内にも前向きな成果をもたらしているという意見が出された。

「私の活動が、いくつかの変化をもたらしたと言えます。それは政府の政策レベルという大きなものではないかもしれませんが、コミュニティレベルでは変化を起こしました。例えば、最近行った電子ごみプロジェクトでは、ノートパソコンや携帯電話を処分すると、その後どうなるのかなど、私たちの電子ごみの管理について議論しました。ごみが環境に影響を与えるため、電子ごみの適切な処理の教育を、方針の策定に向けた提唱活動の形で行いました。方針は策定されなかったとしても、地元での電子ごみの管理方法の解決策が考案されました...」

Haka, 22歳、ジンバブエ

意思決定・リーダーシップ・政治的領域に女性の代表が存在することは、ユースの意欲を引き出す重要な要素であることがわかった。政府と義務の担い手が果たすべき役割が非常に大きいことも指摘され、それぞれがユースの能力強化につながる包摂的な形で、ユースの有意義な参加を阻む障壁を撤廃し、約束を具体的な行動として実施し、変革のための執行・説明責任に重点を置くべきだと提言し続けている。これにより、統治構造と意思決定プロセスを変更する必要が生まれる可能性もある。

「形式的なものばかりです。社会的・経済的に最も困難な状況下で支援を十分に受けていない女の子の意見は未だ聴いてもらえません」

Aurelia, 22歳、サハラ以南アフリカ

報告書全体から、**ジェンダー・年齢・人種・民族・安全が実感できないこと・ハラスメント・反発・資金調達**の困難さが、女の子とユース女性のリーダーシップ発揮と活動を阻む一番の障壁として指摘された。交差性は、必ずしも女の子とユース女性自身のリーダーシップに対する受けとめ方の障害になっているとは言えないが、他の人々や制度が彼女たちをリーダーとして受け入れる際に、障壁になることがわかった。活動とリーダーシップに関連して、女性の心身にオフライン、オンライン問わず影響が及ぶリスクも指摘された。燃え尽き症候群からセクシャルハラスメント・敵意の提示・攻撃や脅迫など、彼女たちが活動の中で直面する障壁は多岐にわたり、デリケートなテーマやタブーとされるテーマを扱う際には特に厚くなる。長期にわたる手続き、支援申請資格基準、そして資金調達には競争を伴う複雑な面があること等、資金不足や資金面の支援を阻む壁が、女の子とユース女性が活動し、リーダーシップを発揮する上で大きな課題になっているとの意見が上がった。世界規模の調査報告書『Turning the World Around』では、(抑圧的な法律を含む)市民活動の場の制限・縮小と組織の官僚主義も障壁として指摘された。

95% の女の子と

ユース女性は、自身の活動が自身に好ましい影響を与えたと回答

25% が、活動中に感情的・心理的に不調や不安を感じていた

61% の女の子とユース女性が、活動に参加したことでマイナスの影響を受けた

61% が、

変革を生む自分たちの活動は、十分、あるいは、それ以上の影響をもたらしていると回答

21% が、運動に参加した場合の安全面を憂慮し、参加を断念した

統計の詳細情報はここから

(Turning the World Around: Girl and Young Women Activists Leading the Fight for Equality)

世界で女性の割合は:

35.5%

の地方議会の議席を占め、

26.7%

の国会の議席を占め、

28.2%

の職場の管理職を占める

プランの調査した女の子とユース女性2万9,000人の

97%

が、政治参加は重要だと回答

女性が国あるいは政府の長を務める国は

31カ国

統計の詳細情報はここから

(Our Voices for our Tomorrow: Youth Reimagining a Gender-Equal Future)

85% の女の子とユース女性がリーダーシップを発揮した経験がある

94% が、女の子とユース

女性が政治参加しようとする際に様々な問題に直面すると回答

75%超

の女の子とユース女性が、仕事・コミュニティ・国でリーダーとなることを希望

統計の詳細情報はここから

(自分の人生のエキスパートとして生きる)

女の子の
権利は
人権だ

新たにわかったこと 主な評価結果

2024年、4地域・30カ国を対象に実施した23件のLEADプログラムに関する評価の振り返りを行った。

2024年の評価の多くで、私たちが協働するユースの優先事項だと考える自信・自尊心・意識に関する指標で向上が見られる。ユースが主体的に関与する点で、プロジェクトによる成果が得られ、それは、一般的な能力強化をメンター制度・研修・模擬訓練・指導の形で行う等、ユースを直接対象とした様々な取り組みによって実現した。例えば以下の事例がある。

- ベナンでは、*Girls Get Equal*キャンペーンの一環として、全国に「Club Cafe」を設置し、女の子が打ち解けられる安全な空間に集まり、意見交換や活動計画を立てられるようにした。同キャンペーンは他のプログラムと相乗効果を発揮し、女の子とユース女性の連携力はNational Girls' Movement等のネットワークを構築できるまで高まり、自分たちを守るために立ち上がる自信につながった。
- グアテマラでは、*チャンピオン・オブ・チェンジ*の手法と学校やコミュニティでの参加機会により、思春期の若者の自己肯定感と自信が高まり、自分の気持ちを表現できるようになった。

各プロジェクトが後押しとなり、ユースは変革の担い手として力を発揮する機会を活かすことができ、成果につながった。これは、女の子とユースが家族やコミュニティの意思決定や力関係に影響を与える、各コミュニティでリーダーとして活動する、自分たち自身の提言キャンペーンをつくる、あるいは意味のある形で意思決定に参加する等、多くの形が考えられる。例えば、ベトナムでは、早すぎる結婚と人身取引を撲滅するため、ユースが毎年恒例の大きなワークショップに教師・村長・地方当局と並んで参加し、これまでの活動を評価し、解決策を探った。

ユースが能力を高め、自分たちにとって重要な問題について集団的行動を行うためには、権力者とつながる足がかりを持つことが、資金面の支援と共に大きな鍵になることが明らかになった。2024年プランはプロジェクトを通して、様々な仕組みを用いてユースの連携と集団的活動を促進・強化してきたが、財政支援(特に柔軟で長期的なもの)と、ユースグループ・ネットワークが(義務の担い手・他の仲間の組織・メディア等)主な関係者らとともに、彼らにとって重要な課題に関わる機会づくりが成功の要因として最もよく挙げられた。

子ども・思春期の若者・ユースの集団的活動全体を強化するには、あらゆるテーマ分野のプロジェクトで、文脈上重要な他の優先分野と並行してユースを中心にしたプログラムに一層注力し、そのために人的・財政的リソースを充てることが、重要である。

ユースは、活動を通して自身とコミュニティにとって前向きな成果を得ると同時に、マイナスの影響も受けており、それはジェンダーに基づくものであることが多い。LEADプログラムでは、規範・スティグマ・伝統の影響が子どもの権利に及ぶ文脈では、広くコミュニティだけでなく、男の子とユース男性が意味のある形で関与することに一層重点を置く必要があることが、評価を通して明らかになった。

ユースの参加に向け、各国政府と義務の担い手に前向きな変化が起きつつあることは、今回の評価からわかる。各報告書では、義務の担い手と共にユースの参加に向けた能力強化を行う、ユースの参加を求める提唱活動をする、話し合いの場に子どもとユースが参加するための直接的な支援を行う等の活動が特に強調された。この中には、ユースが国際会議、国際/地域レベルの議論の場、政府の機構のさまざまなレベルに参加して提言とロビー活動を行う、子ども保護委員会その他各コミュニティの機構に参加する等が含まれる。

参加については、意思決定の過程で問題をはっきり指摘する、平和大使として活動する、学校やコミュニティの選挙に立候補する等さまざまな形が挙げられた。義務の担い手がユースの参加や課題に非常に積極的に取り組んでいるプロジェクトもあることが、エビデンスから明らかになった。

こうした熱心な取り組みに加え、いくつかの報告書では、複数の関係者の参加により働きかけに成功した例も紹介された。例えば、義務の担い手が:

- ジェンダーの問題や子どもの保護に関する法律や政策文書を起草または改訂した

- ジェンダー不平等・差別・性とジェンダーに基づく暴力に対処するために、子どものセーフガーディングに関する新たな政策・行動規範・規則を可決または導入した
- 女の子に影響する問題や、ユースを含む障害を持つ人の権利の実現に関する政策と手続きを実施した

だが、意味のある参加のレベルにはばらつきがあり、その定義に違いがあることも、調査と評価の両方から明らかになっており、この分野での取り組みの継続的な必要性が示された。



Nicol, 18歳、カウカ県・コロンビア、は、朗読・執筆・研究を通じて子ども・ユース・女性のための提唱活動を行っている。彼女は自治体のユース議会議長として、プランのEmpoder Arte por la Pazプロジェクトに参加し、地方当局と共に市民の抱える課題に取り組み、ジュネーブで開催された国連普遍的・定期的レビューにコミュニティ代表として参加した。

一層の注力が必要な部分

2024年に得たエビデンスは、変革の推進者として行動したいというユースの志を支えるために、どこに投資し、どのようにプログラムを設計するかについて真に求められていることが何か、プラン・インターナショナルはもちろんセクター全体に重要なメッセージを伝えている:

- **参加に対する障壁が最も厚い人びとを対象とした戦略:** 障害の有無・性自認・性的指向・人種・宗教等の要素が、多くの場合交差しあうことで有意義な参加を阻む壁は増え、反発やマイナスの影響を受けるリスクも高まる。こうした問題を把握・対応するためには、プロジェクトの設計段階から、プロジェクト参加者またはパートナーとして、あらゆる多様性を持つ女の子とユースが意味のある形で関与することが必須である。
- **連携促進能力の活用:** ユースは、ピアツーピアのプラットフォームやネットワークはもちろん、指導やメンター制度等の形で、義務の担い手・仲間の組織・メディアを含む主な関係者とつながれる取り組みを重要視している。これには、競争ではなく、補い合いながら連帯していくために、似た目標を目指すグループ間の協力を促進するネットワークとの連携も含まれる。

- **長期的な関係構築:** 2024年に得たエビデンスから、長期的なパートナーシップと共に、現在成長中のユースグループ・組織に対する支援、助成金受給者の継続支援、グループ・組織の卒業生とのつながりを含めた支援システムを築く必要性が、大きなテーマの1つとして導き出された。これは、ユース主導の組織・グループと持続可能なパートナーシップを築き、育てていくことはもちろん、プロジェクトの長期化を求めて提言し、過去の成功例を活かしてプロジェクトを継続する機会を可能な限り広げる必要がある、という意味である。
- **根深い規範への継続的な挑戦とユース活動家の抱えるリスクへの対応:** あらゆる多様性を持つ女性・女の子・ユースが、その代表として存在する機会を増やし、活動に参加し、政治的あるいは公的なリーダーシップを発揮する地位に就き、その地位を維持することを阻む制度上の障壁の撤廃を促すため、より広範にジェンダーや年齢に関する規範に挑む取り組みを深化し続ける必要がある。また、市民の活動の場の縮小など、ユースが活動中に経験するリスクを分析・軽減する支援を強化する必要もある。
- **有意義なユースの参加への投資:** ユースの有意義な参加は、着実に進んではいないか、求められる水準に達していないのが実情であり、その定義も様々である。私たちは、義務の担い手に対する提唱活動を強化し、ユースが彼らにとって重要な問題について有意義な形で参加する機会をどのように設けるかに一層注力して行かなければならない。

2024年の他の発行物はこちら:

[プラン・インターナショナルの、多様な性的指向、性自認、性表現、性特性を持つ人びと\(SOGIESC\)に関する意見書](#)

[「The Girls' Pact for the Future」](#): 思春期の女の子とユースが抱える不安と心に描くジェンダー平等で望ましい未来の姿、さらに政策立案者への提言を示したもの

[「未来のために: 気候正義と教育に関するユースの声」](#): インドネシア・ネパール・オーストラリアの30人のユース活動家が協力し、気候変動が女子教育に与える影響と、彼らが望む変化を導きだしたもの



Until we are all equal

プラン・インターナショナルについて

プラン・インターナショナルは、子どもの権利と女の子の平等を推進する独立した開発・人道団体である。私たちは、すべての子どもの力と可能性を信じているが、それが貧困、暴力、排除、差別によってしばしば抑圧されていることを知っている。そして、その影響を最も受けているのは女の子なのだ。

子ども、ユース、支援者、パートナーとともに、私たちは公正な世界を目指し、女の子や脆弱な子どもが直面する課題の根本原因に取り組んでいる。私たちは、子どもが生まれてから大人になるまで、彼らの権利を支援し、子どもが危機や逆境に備え・対応できるようにする。私たちの広がり、経験、知識を活用し、地域、国、そして世界レベルで実践と政策の変革を推進する。85年以上にわたり、私たちは80カ国超ですべての子どもたちの生活を変えるために、決意ある楽観主義者を結集してきた。

皆が平等になるまで、私たちは止まらない。

Plan International
Global Hub
Dukes Court, Duke Street, Woking,
Surrey GU21 5BH, United Kingdom

Tel: +44 (0) 1483 755155
Fax: +44 (0) 1483 756505
E-mail: info@plan-international.org

- plan-international.org
- facebook.com/planinternational
- twitter.com/planglobal
- instagram.com/planinternational
- linkedin.com/company/plan-international
- youtube.com/user/planinternationaltv

表紙写真: 14歳のFátimalは、Deciding Without Violenceプロジェクトのピア教育者として、女性と女の子への暴力に対する啓発活動を行い、ジェンダーステレオタイプに挑み、コミュニティでの思春期妊娠の防止に取り組んでおり、菜の花畑で伝統的なクスコのドレスを着用している、ペルー

免責事項: 本報告書で使用されている画像は、調査参加者のものではない。全ての画像の使用には、事前に同意を得ている。